

VO: 1980 年に時を遡りましょう。人々が最新のアーケード用ドットイットゲームに興じるなか、カリフォルニア大学バークレー校では、あるチームが最初の縮小命令セットコンピュータの開発を行っていました。その名は略して「RISC（リスク）」。

SUPER: 最初の縮小命令セットコンピュータ（RISC I）は 1980 年に開発されました。

VO: それから 30 年、4 回のバージョンを経て、RISC-V が誕生しました。注目されるようになるまでには、さらに 8 年かかりました。

SUPER: RISC-V は 2010 年に誕生し、2018 年に人気が高まりました。

VO: RISC-V は、命令セットアーキテクチャ、または ISA です。プロセッサを構築するための設計図のようなものです。

SUPER: RISC-V は、命令セットアーキテクチャ（ISA）です。プロセッサの抽象モデルを定義します。

VO: この技術は手の込んだ複雑なものだと思うかもしれませんが、そうではありません。実は、非常にシンプルなのです。

SUPER: RISC-V では、32 ビットまたは 64 ビット実装の整数命令は 47 しかありません。

VO: このシンプルさと無料でオープンソースであることから、RISC-V は大きな注目を集めています。

SUPER: シンプル、無料、オープンソースです。

VO: あなたも私も、誰もが、この基本的な設計図に自分独自のアイデアを追加することができます。基本的なコードを変更するのではなく、拡張機能を追加することで修正できるよう設計されています。

SUPER: モジュラー設計により、その上に構築することが可能。

VO: つまり、無限のカスタマイズが可能なのです。

SUPER: 無限のカスタマイズが可能。

VO: 現在、RISC-V は、RISC-V インターナショナルという非営利団体によって管理されています。今後の開発を含む、規格の標準化はこの団体によって行われています。

SUPER: RISC-V は、非営利団体 RISC-V インターナショナルによって管理されています。

VO: RISC-V の未来は明るく、多様性に対応します。次のステップは、RISC-V に特化したツールのエコシステムをしっかりと構築してゆくことです。

SUPER: 次のステップ：エコシステムの構築

VO: シミュレータ、デバッガ、コンパイラとライブラリ、ブートローダーなど、その他にも多種多様な製品があります。

SUPER: RISC-V の可能性を広げる多様な製品の開発

VO: ツールが増えれば、RISC-V はより使いやすくなり、より標準化されるはずです。このシンプルでパワフルな設計図を使ってプロセッサを開発したいと誰もが思うようになるでしょう。

SUPER: より使いやすく、より標準化されます。

VO: この技術は比較的新しく、私たちはその歴史を作っている最中です。誰もが今、この歴史に参加できるのです。

SUPER: RISC-V の歴史は今も進行中です。

VO: マウザー・エレクトロニクスがお届けしました。イノベーションを共に強化することが私たちの使命です。